

伯備線開通当時の駅舎のつくりを伝える

JR伯備線方谷駅駅舎



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	じえいあーるはくびせんほうこくえきえきしゃ
所在地	高梁市中井町西方
指定年月日	平成23年7月25日
解説	昭和3年(1928)に全通した伯備線の駅舎で、駅名は当地出身の幕末の儒学者、山田方谷に因む。駅舎は南面して建ち、桁行17m梁間6.4m、木造平屋建、切妻造瓦葺で、南面東寄りに切妻造の車寄を設けて出入口とし、北面に庇をかける。腰を洗出し、壁を下見板張とし、車寄は直線的で瀟洒な意匠とする。伯備線開通当時の駅舎のつくりをよく伝えている。
アクセス方法	JR伯備線方谷駅下車
公開状況	駅舎として使用中
設備	トイレ 
備考	